愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育内容（人間関係）		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

乳幼児期は、身近な大人との信頼関係に支えられ、環境との相互作用を通して発達する中で、徐々に周囲の子どもや地域の人々へと人間関係が広がっていく時期である。子どもにとって、人との関わりを経験することを通して自我が芽生え、社会性が育まれる重要な時期である。本授業では、領域「人間関係」を理解することを通して保育者の役割を自覚するとともに、乳幼児期における人間関係の育ちと人と関わる力を養うための指導法や保育教材について学び、自らの実践に取り入れることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	本授業は講義と演習を併用する。ディスカッションやグループワークを導入し、領域や保育内容について相互に理解を深める。受講生の主体性、意欲を強く求める。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	保育内容「人間関係」の理解	幼稚園教育要領や保育所保育指針の領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。	□
第2回	人間関係と小学校教育との関連	人間関係を育む遊びについて、小学校教育との関連を実技を通じて学ぶ。	□
第3回	生活と遊びを通して育つ人とかかわる力(1)－3歳未満児	保育所保育指針における3歳未満児の領域「人間関係」に対する理解を深める。	□
第4回	生活と遊びを通して育つ人とかかわる力(2)－3歳以上児	幼稚園教育要領における領域「人間関係」に対する理解を深める。	□
第5回	3歳児の人間関係	３歳児における保育環境の構成や保育者の援助や遊びについて理解を深める。	□
第6回	4歳児の人間関係	４歳児における保育環境の構成や保育者の援助や遊びについて理解を深める。	□
第7回	5歳児の人間関係	５歳児における保育環境の構成や保育者の援助や遊びについて理解を深める。	□
第8回	学習内容の進捗確認（中間）	第１回から第７回までの内容を振り返るとともに、理解度を図るための進捗状況を行う。	□
第9回	発達を踏まえての人間関係と評価	教育課程や全体的な計画をふまえ、領域「人間関係」の観点から子どもに対する評価について学ぶ。	□
第10回	発達を踏まえた人間関係の指導案(１)－作成方法	領域「人間関係」の観点から週案作成について学ぶ。	□
第11回	発達を踏まえた人間関係の指導案(２)－日案の作成	領域「人間関係」の観点から日案について学ぶ。	□
第12回	模擬保育(1)－3歳未満児の指導案の発表・実践・評価	3歳未満児の指導案を作成し模擬保育を行い振り返りを行う。	□
第13回	模擬保育(2)－3歳以上児の指導案の発表・実践・評価	3歳以上児の指導案を作成し模擬保育を行い振り返りを行う。	□
第14回	人と関わる力を養う情報機器及び教材の活用	領域「人間関係」の観点から保育者が保育に取り入れる情報機器及び教材の活用について考える。	□
第15回	学習内容の進捗確認（期末）	第１回から第７回までの内容を振り返るとともに、理解度を図るための進捗状況を行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習は、各回でのトピックを教科書を中心に読み込むとともに、不明確な点については文献、インターネット等で確認する（２時間程度）。事後学習はノートやプリント等で振り返りをしつつ、不足分について関連文献を読み込み、資料収集を行い、成果の定着を図る（２時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題等については授業時間内に適宜、返却する。内容についても解説し、受講者全員の理解を図る。 授業時間外の場合はオフィスアワー、もしくは教員が研究室に在席し、対応できる場合は随時対応する。課題やコメントは、必要に応じて次回以降においてまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	幼稚園教諭・保育士になるための免許と資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	保育者として幼児教育・保育の現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力を持ち、豊かな表現力を習得できている。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	幼稚園・保育所をはじめとする就学前施設での幼児教育・保育に主体的・協働的に携わることのできる幅広い人間力を体得している。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験：授業で得られた知識の理解度及び技術の修得度について、筆記及び実技試験にて確認する。
その他：各種提出物や課題について、質、量ともに評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『新時代の保育双書　保育内容 人間関係［第２版］』（㈱みらい）	9784860154455
2	「保育所保育指針」（平成29年，　厚生労働省）	
3	「幼稚園教育要領」（平成29年，　文部科学省）	
4	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示　内閣府・文部科学省・厚生労働省）	
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「保育所保育指針解説」（平成30年，厚生労働省）	
2	「幼稚園教育要領解説」（平成30年，文部科学省）	
3	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（平成30年，内閣府・文部科学省・厚生労働省）	
4		
5		